

# 自己抗体検査

No. 1



## 全身性自己抗体

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3562	RF定量 5G160-0000-023-062	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	30 免疫	LA	15.0以下 IU/mL		【高値】関節リウマチ・SLE 強皮症 肝硬変・肝炎(急性・慢性)
3847	IgG型リウマトイド因子 5G161-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	203 免疫	ELISA	2.0未満		【高値】関節リウマチ・SLE
3525	抗核抗体(半定量) 5G1010-0000-023-162	血清 0.2	1	冷蔵	3~5	105 免疫	FA	40未満 倍		【高値】自己免疫性疾患 (SLE、自己免疫性肝炎、強皮症、 筋炎、甲状腺炎など)
3783	抗ミトコンドリア抗体 (半定量) 5G175-0000-023-162	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	186 免疫	FA	20未満 倍		【高値】原発性胆汁性肝硬変 慢性活動性肝炎・肝硬変 自己免疫性肝炎 アルコール性肝炎
3788	抗ミトコンドリアM2抗体 (定量) 5G176-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	194 免疫	FEIA	7.0未満 U/mL	(±)7.0~10.0 以下 (+)10.0を越える	
2513	MMP-3 (マトリックスメタロプロテインナーゼ-3) 3B503-0000-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~3	116 免疫	LTIA	男 36.9~121.0 女 17.3~ 59.7 ng /mL		【高値】リウマチ様関節炎 関節リウマチ・SLE
9015	抗DNA抗体 5G020-0000-023-002	血清 0.2	1	冷蔵	3~5	168 免疫	RIA (硫酸塩析法)	6.0以下 IU/mL	血漿検体不可	【高値】SLE・血管炎・強皮症 Overlap症候群・肝硬変 原発性シェーグレン症
3823	抗dsDNA抗体 IgG 5G036-0000-023-052	血清 0.4	1	冷蔵	3~5		CLEIA	12.0以下 IU/mL		【高値】SLE・Overlap症候群
3678	抗ssDNA抗体IgG 5G026-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5		ELISA	25.0以下 AU/mL		【高値】自己免疫性疾患 (SLE、自己免疫性肝炎、強皮症、 筋炎、甲状腺炎など)
9699	抗ガラクトース欠損IgG抗体 5G166-0000-023-053	血清 0.3	1	冷蔵	3~6	117 免疫	ECLIA	6.0未満 AU/mL		【高値】関節リウマチ・SLE・強皮症
2913	抗ARS抗体 (アミノアシルtRNA合成酵素) 5G121-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~9	190 免疫	ELISA	25.0未満 (-)	不活化検体は結果に影響 及ぼす可能性があります ので避けてください。	【陽性】間質性肺炎・多発性筋炎 皮膚筋炎

※リウマトイド因子(RF)定量、抗ガラクトース欠損IgG抗体定量、マトリックスメタロプロテインナーゼ-3(MMP-3)、C1q結合免疫複合体、モノクローナルRF結合免疫複合体、IgG型リウマトイド因子のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。

※抗ガラクトース欠損IgG抗体定量とリウマトイド因子(RF)定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※抗ARS抗体と抗Jo-1抗体定性、同半定量又は同定量を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。



## 全身性自己抗体

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3600	抗Jo-1抗体 5G120-0000-023-092 5G120-0000-023-052	半定量 血清 0.3	1	冷蔵	4~6	140 免疫	オクタブロニ法	陰性 倍		【陽性】多発性筋炎(PM) 皮膚筋炎(DM)
2350		CLEIA 血清 0.5			3~5	140 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3822	抗RNP抗体 5G066-0000-023-092 5G066-0000-023-052	半定量 血清 0.5	1	冷蔵	4~6	144 免疫	オクタブロニ法	陰性 倍		【陽性】混合性結合組織病 (MCTD) SLE
3994		CLEIA 血清 0.3			3~5	144 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3821	抗Sm抗体 5G065-0000-023-092 5G065-0000-023-052	半定量 血清 0.5	1	冷蔵	4~6	151 免疫	オクタブロニ法	陰性 倍		【陽性】全身性強皮症・SLE ループス腎炎・Overlap症候群
3993		CLEIA 血清 0.3			3~5	151 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3593	抗Scl-70抗体 5G085-0000-023-092 5G085-0000-023-052	半定量 血清 0.5	1	冷蔵	4~6	161 免疫	オクタブロニ法	陰性 倍		【陽性】全身性強皮症 Overlap症候群
3997		CLEIA 血清 0.3			3~5	161 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3824	抗SS-A/Ro抗体 5G076-0000-023-092 5G076-0000-023-052	半定量 血清 0.5	1	冷蔵	4~6	163 免疫	オクタブロニ法	陰性 倍		【陽性】シェーグレン症候群・SLE 多発性筋炎進行性全身性硬化症 (PSS)
3995		CLEIA 血清 0.3			3~5	163 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3825	抗SS-B/La抗体 5G077-0000-023-092 5G077-0000-023-052	半定量 血清 0.5	1	冷蔵	4~6	161 免疫	オクタブロニ法	陰性 倍		【陽性】シェーグレン症候群 亜急性皮膚ループス 新生児ループス
3996		CLEIA 血清 0.3			3~5	161 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3677	抗セントロメア抗体 5G090-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~4	179 免疫	ELISA	10.0未満	(±)10.0~15.9 (+)16.0以上	【陽性】強皮症 原発性胆汁性肝硬変
3856	抗カルジオリピン抗体IgM 5G510-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	4~7		ELISA	8.0未満 U/mL		【高値】抗リン脂質抗体症候群 習慣性流産・動静脈血栓症 SLE
9672	抗カルジオリピン抗体 5G508-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~6	232 免疫	ELISA	10.0未満 U/mL		【高値】抗リン脂質抗体症候群 習慣性流産・動静脈血栓症 SLE
9406	抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> GPI複合体抗体 (抗CLβ <sub>2</sub> GPI抗体) 5G504-0000-023-023	血清 0.3	1	凍結	3~5	223 免疫	EIA	3.5未満 U/mL	β <sub>2</sub> GPI:β <sub>2</sub> グロブリン I IgG型抗体	【高値】抗リン脂質抗体症候群 習慣性流産・動静脈血栓症 SLE
2304	抗PE抗体IgG (抗フォスファチルエタノールアミン抗体) 5G512-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	不定期		ELISA	キノーゲン(+)0.300以下 キノーゲン(-)0.300以下 C.I.		【高値】血栓症・習慣性流産
2305	抗PE抗体IgM (抗フォスファチルエタノールアミン抗体)	血清 0.3	1	冷蔵	不定期		ELISA	キノーゲン(+)0.450以下 キノーゲン(-)0.750以下 C.I.		【高値】血栓症・習慣性流産
2858	抗RNAポリメラーゼIII抗体 5G087-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	4~10	170 免疫	EIA	28.0未満 index		【陽性】強皮症 皮膚硬化の進行 強皮症腎クリーゼ

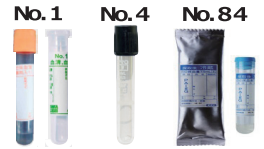
自己抗体検査の包括 1回に採取した血液を用いて2項目以上の検査を行った場合  
2項目:320点 3項目以上490点

※抗セントロメア抗体は、原発性胆汁性肝硬変又は強皮症の診断又は治療方針の決定を目的に用いた場合のみ算定できる。

※抗カルジオリピン抗体と抗カルジオリピンβ<sub>2</sub>グロブリンI複合体抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※抗RNAポリメラーゼIII抗体は、びまん性強皮症の確定診断を目的として行った場合に、1回を限度として算定できる。また、その際陽性と認められた患者に関し、腎クリーゼのリスクが高い者については治療方針の決定を目的として行った場合に、また、腎クリーゼ発症後の者については病勢の指標として測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。

# 自己抗体検査



## 全身性自己抗体

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存 安定性	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
9100	抗血小板抗体 5G520-0000-023-103	血清 0.4	1	冷蔵	4~6	262 免疫	MPHA	(-)		<b>[陽性]</b> 特発性血小板減少性紫斑病 血小板輸血不応状態
4177	予約検査 PA-IgG 5G525-0000-019-021	ACD-A添加 血液 7.5	84 (専用)	血液 冷蔵	3~5	198 免疫	ELISA	46以下 ng/10 <sup>7</sup> /セル	ヘパリン血液は不可 受託可能日 月~金	<b>[高値]</b> 特発性血小板減少性紫斑病 血小板輸血不応状態・SLE
4094	ループスアンチコアグラント 5G501-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿 凍結	3~5	281 免疫	希釈ラッセル 蛇毒試験法	1.2以下		<b>[高値]</b> 抗リン脂質抗体症候群 動脈血栓症・静脈血栓症 習慣性流産・血小板減少症
9559	免疫複合体(C1q) 5G610-0000-023-023	血清 0.3	1	凍結	3~5	157 免疫	ELISA	3.0以下 μg/mL		<b>[高値]</b> SLE・関節リウマチ 糸球体腎炎・感染症・悪性腫瘍
9216	モノクローナルRF 結合免疫複合体 5G635-0000-023-023	血清 0.2	1	冷蔵	3~9	194 免疫	EIA	4.1以下 μg/mL		<b>[高値]</b> 関節リウマチ・IgA腎症・ SLE・強皮症・シェーグレン症候群 急性糸球体腎炎

※ループスアンチコアグラントは、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。

※血小板関連IgG (PA-IgG) は、特発性血小板減少性紫斑病の診断又は経過判定の目的で行った場合に算定する。

※リウマトイド因子 (RF) 定量、抗ガラクトース欠損IgG抗体定量、マトリックスメタロプロテイナーゼ-3 (MMP-3)、C1q結合免疫複合体、モノクローナルRF結合免疫複合体、IgG型リウマトイド因子のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。

自己免疫性疾患 疾患名 検査項目	SLE /	SS /	SSc /	MCTD /	PM/DM /	ASP /	RA /		GPA /	EGPA /	AH /	PBC /							
	全身性エリテマトーデス	シェーグレン症候群	強皮症	混合性結合組織病	多発性筋炎・皮膚筋炎	抗リン脂質抗体症候群	関節リウマチ	血管炎症候群	多発血管炎性肉芽腫症	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	自己免疫性肝炎	原発性胆汁性肝硬変	天疱瘡	類天疱瘡	慢性甲状腺炎	バセドウ病	自己免疫腺炎		
抗核抗体	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎	△							○
抗 dsDNA抗体	◎	△		◎															
抗 Sm抗体	○	△		◎															
抗 RNP抗体	△		○	◎	△														
抗 SS-A/SS-B抗体	○	○	△	△	△		△												
抗 Scl-70抗体			○	○															
抗セロメア抗体		△	○									△							
抗JO-1抗体				○	○														
ANCA								◎											
MPO-ANCA								○	◎										
PR3-ANCA								○	◎										
抗カルジオリピン抗体	○	△	△	△	△	◎													
IgM RF	△	△	△	△			◎												
IgG RF																			
抗 CCP抗体						◎													
ループスアンチコアグラント						◎													
抗平滑筋抗体										◎									
抗 LKM-1抗体										◎									
抗ミトコンドリア抗体											◎								
抗デスモグレイン1												◎							
抗デスモグレイン3												◎							
抗BP180a16抗体													◎						
抗サイログロブリン抗体														◎					
抗TPO抗体															◎				
TRAB																◎			
IgG4																			◎
抗ARS抗体						◎													
抗MDA5抗体						◎													
TIF1-γ						◎													
抗Mi-2抗体						◎													
抗RNAポリメラーゼIII抗体			◎																
抗BP230抗体														◎					

多発血管炎性肉芽腫症 (ウエゲナー肉芽腫症)  
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (アレルギー性肉芽腫血管炎)